「男のしゃべり」

古い時代の話になっている中に
「男のしゃべりはみっともない」
があって、つまり、
「男は黙って○○」
という CM フレーズになっていた時代に育った私。

「なぜ、みっともないのだろうか」と問うと
「口ばかり動いて手が動かない」
という労働に関するものが大きいように思う。

つまり、「作業」をする時に集中していると
当然、寡黙になると作業の能率や質を向上する
という具体的な効果があるのだ。

最近、喫茶店に同じ時間帯に来る方がいて
丁度、女性陣が多くワイワイしている中に割り込んで
さらに、騒がしくするようになって
静かに新聞や本を読んでいる客には迷惑な存在になってきて
記事に集中するのを妨げるようになったのである。

確かに、いろんな話題に精通されており、
女性陣とうまく会話を続けておられるので感心するが
様子を伺っていると地域や食べ物などの自分のネタに
持ち込もうとされているのだ。

「へぇー、そうなんや」と思うほどの雑学なのだ。

その他の男性は、黙々とモーニングを頂いて、仕事への準備を進めるが
この方は街をうろついて多くの知り合いとの関係で雑多な仕事を得る生業で
ある意味、職業不詳というカテゴリーの方だが、
その反面、確かに、地域の情報に詳しいのだ。

そう言えば、他の男性は職業を持っておられ、
この差が大きい

と実感している。

まぁ、私より1才下の方で、昔、亡き妻が不動産屋でリフォームの相談したら
この方が来て、「坪、〇〇円」とアバウトな話で
例えば、壁紙や床のフローリング材などの見本帳を持っておらない
素人（？）に近いスタイルなので即断り、
キチンとした見積を出す工務店に発注した事があった。

つまり、ちょっとした修繕など、どんな話でも飛びついて手配する人のようで
多くの職人と関係があってミニ工務店みたいな便利屋なので
水道工事や軒の修繕など少額な仕事がメインのようで
ほぼ、毎日、いろんな所に顔を出しているようだ。

一方、お昼頃に来る方は5才上の方だが、
「自虐ネタ」と言った方が近いのだが、自分のことをよく喋り
最近、ガンになったが、抗がん剤投与は苦しいので半分にしてもらったとか
「脱腸」になっておられて、最近、大きくなったと周囲に触らせる
という具合の方なのだ。

この方も女性陣に受けが良いようで、
例えば、抗がん剤の問題でもいろんな意見が出て
ほぼ、皆さんからいじられているのだ。

確かに、お昼前の談笑なので、「自虐ネタ」は面白い話題で
皆さんが笑っているのだ。

このように、シニアの世界になると現役の仕事から離れているので
時間を持て余して喫茶店で談笑しているが
例えば、私のように「仕事」（？）を持っている人たちは
「キョーイク、キョーヨウ」のいずれもがあるので
この談笑に加わらず、さっさとお店から出て行くのだ。

冒頭の「男のしゃべりはみっともない」という定説だが、
ご本人は、結構、「受けている」と思っているようで、
いろいろと自分から話しかけることもあり
一方的な趣味の話では「おしつけ」感が働くがムリに同調している

という雰囲気があるのも事実のようだ。

でも、昔、新入社員教育で「スイッチオンスマイル」という事を教わったが
すぐに笑顔になって会話できるのは羨ましく思うのだ。

私は買う側だったので、営業の方が「切り出し話法」に工夫をされており
多くの方は「トヨタ」のネタで入っており、
中にはIBMの方で新聞に「トヨタ」の記事があったら電話して来て、
それらをコピーして残しファイルに綴じて社長に送っておられた
ということもあった。

確かに、「口を開くネタ」が難しいのだが、
自分勝手なネタよりも相手を思ったネタなら反応しやすく
先のIBMの方のお蔭で、毎朝、日経新聞を読む習慣がついた
という副次効果があったのも事実なのだ。

ともかく、場を和ますネタと言うのは「時」と「場」によって違うのだが
基本は聞く側を思ったネタなので間違えないようにしたい。

それにしても、喫茶店で朝からベラベラしゃべるのは
通勤時間帯なので客層が変わるのでお店も常連だけに痛しかゆしで
困っているのではないかと危惧しており、
私は、この方が来る前に新聞の記事に目を通すようにして
ピックアップしたものを先に読む自己防衛をしている。